

第22回 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議

議事要旨

日 時：令和7年5月26日（月） 13：30～15：30

場 所：八代市役所3階 301・302会議室

■やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議 委員（敬称略）

八代市	副市長	福島 誠治（会長）
八代市市政協力員協議会	会長	福田 民男
八代商工会議所	会頭	竹永 淳一
八代市商工会	会長	野村 浩一
株式会社 神園交通	代表取締役	神園 久二子
メルシャン株式会社八代工場	工場長	藤田 康範
一般社団法人DMOやつしろ	事務局長	永田 浩基
熊本県県南広域本部	総務部長	宮川 和巳
熊本県立八代高等学校・八代中学校	教頭	井上 朋美
株式会社肥後銀行 八代市役所支店	支店長	山下 たまき
連合熊本県南地域協議会	事務局長	花岡 久美子
八代市保育協会	会員	時下 晃生（代理）
八代港港湾振興協会	理事	吉田 明子
株式会社 きらり．コーポレーション	企画広報部長	川越 真也（代理）

（欠席）

八代地域農業協同組合	代表理事組合長	山住 昭二
八代森林組合	代表理事組合長	黒木 信夫
八代漁業協同組合	代表理事組合長	平田 正一
八代市教育委員会	委員	早田 蛍
日本郵便株式会社 坂本郵便局	局長	深田 啓介
株式会社 エフエムやつしろ	代表取締役	吉住 一郎

＜配付資料＞

会議次第、出席者名簿

資料 1 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議設置要綱

資料 2 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議における効果検証スケジュールについて

資料 3 令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業に係る
効果検証資料

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 会長挨拶

4. 説明（やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議について）

・資料 1、2 説明（企画政策課）

5. 議事

令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業に係る効果検証について

・資料 3 説明（各課）

■ 3－1 スマート農業技術の導入を軸とした担い手不足の解消と農業所得の向上事業
（農林水産政策課）

■ 3－2 アフターコロナを見据えたアウトドアツーリズム振興による関係人口の創出
（観光振興課）

■ 3－3 デジタル医療 MaaS 推進事業
（健康福祉政策課）

■ 3－4 八代の儲かるアサリ漁業の V 字回復に向けた産学官連携プロジェクト
（水産林務課）

■ 3－5 アジア圏への八代産品輸出促進事業
（フードバレー推進課）

- ・本資料は、令和 6（2024）年度に国のデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用して実施した 5 つの事業について、行政内部において効果検証を行い、事業実施による地方創生への成果や課題、それらを踏まえた今後の事業の方針について取りまとめたもの。
- ・各事業に関する質疑や意見交換を行ったうえ事業評価を行う。

■スマート農業技術の導入を軸とした担い手不足の解消と農業所得の向上事業

・スマート農業の取組については、県補助金の活用など、引き続き県と市との連携をお願いしたい。

■アフターコロナを見据えたアウトドアツーリズム振興による関係人口の創出

・遙拝八の字広場の占用利用について、市ホームページで占用状況の周知等されているものの、一般利用者が入り込むので、改善をお願いしたい。

・レンタサイクルについて、観光面とグルメや体験などを一体化して、付加価値のあるサービスにしていく必要がある。

・八代市の観光名所でも自転車を貸し出すべき。

・アウトドアステーションやつしろのサイクリングルートに、新八代駅からも行きやすい777段の石段を加えるべき。

・遙拝八の字広場は、想定を大幅に上回る利用者となっており、評価された要因を検証するとともに、今後の更なる活用に繋げることが重要。

・遙拝神社と古麓稲荷神社とを吊り橋で結ぶ、遙拝八の字広場に高い鉄塔を建て、遙拝神社及び古麓稲荷神社とケーブルカーで結ぶなどの整備をし、遙拝神社、古麓稲荷神社から777段の石段を巡るアウトダアルートを造成してはどうか。

・今後は、八代市の誇りの一つである宮地の街並みや自然環境と球磨川とのマッチングのブランディングに取り組んでいただきたい。

・777段石段の頂上からの絶景スポットなどもホームページで紹介してはどうか。

・八代市内の各表示に多言語標記を増やせば、インバウンドの方たちも更に周遊されるようになるのではないかな。

・食事等に関して、ビーガンや様々な食アレルギーを持った方がいるので、ビーガン対応の飲食店なども観光マップに掲載すれば、安心して市内を巡られると思う。

■デジタル医療 MaaS 推進事業

・山間部での通信については、スターリンクなどのサービスも参考にしてはどうか。

■八代の儲かるアサリ漁業のV字回復に向けた産学官連携プロジェクト

・各団体におけるアシストスーツの導入には、中小企業省力化投資補助金の活用を推進したらよいかなと思う。

■アジア圏への八代産品輸出促進事業

・昨年、八代市と台湾の新竹市とで友好交流協定を締結し、経済面での動きはあるが農業関連の動きが見えない、本事業においても新竹市での取組を行うべき。

・技能実習生が増加しているところ、農業の技能実習生のレベルアップを図る取組を農業政策の分野において推進いただきたい。

★5事業の評価について、原案どおりで一同了承。

6. 閉会